

9月9日は「救急の日」



今回、外国人講師としてお越しいただいたのは、塩釜市外国語指導助手（ALT）のサチュニーノ・ジュニア・デロス・アンジェルス先生です。急なお願いに、快く協力していただきありがとうございました。

【訓練の様子】



ディスカッション



外国人講師のアドバイス



最後に記念撮影

【外国人対応救急実技訓練】

実施しました。

塩釜消防署では、令和元年9月9日(月)と10日(火)に外国人からの救急要請に対し、通訳を介して自覚症状等を確認する「外国人対応救急訓練」を初めて実施しました。

2020年の東京オリンピック開催等を見据え、救急隊及び指令課員の外国人に対する対応能力の向上を図るため、外国人を講師として招き、傷病者役を演じてもらい、接遇および救急活動の評価をしていただきました。

現場に到着した救急隊員が、スマホアプリ「救急ボイストラ」を使用し身元の確認や自覚症状の聴取を行ったり、119番通報受信時に専用のコールセンターにつないで同時通訳を要請したいと本番さながらの訓練を行いました。今後増加が見込まれる外国人旅行者等の対応に活かしていきます。